

製品名: MAP2K3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81644**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	39.3kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP2K3
別名	MEK3; MKK3; MAPKK3; PRKMK3; SAPKK2; SAPKK-2
遺伝子 ID	5606.0
SwissProt ID	P46734
免疫原	大腸菌で発現したヒト MAP2K3 (AA: 1-138) の精製された組み換え断片。

背景

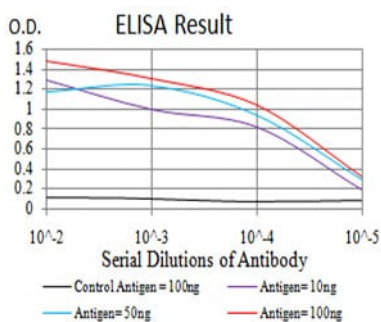
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、MAP キナーゼファミリーに属する二重特異性タンパク質キナーゼである。このキナーゼは、分裂促進ストレスおよび環境ストレスによって活性化され、MAP キナーゼを介したシグナル伝達カスケードに関与す

る。MAPK14/p38-MAPK をリン酸化して活性化する。このキナーゼはインスリンによって活性化され、グルコーストランスポーターの発現に必須である。RAS がん遺伝子の発現は、このキナーゼの活性型蓄積をもたらし、MAPK14 の恒常的活性化を誘導し、初代培養細胞のがん化を引き起こすことが分かっている。このキナーゼの阻害は、Yersinia pseudotuberculosis の病因に関与している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。

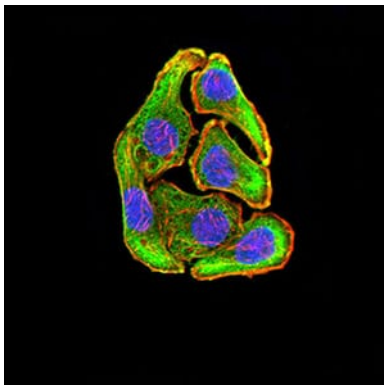
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路、Jak-STAT シグナル伝達経路

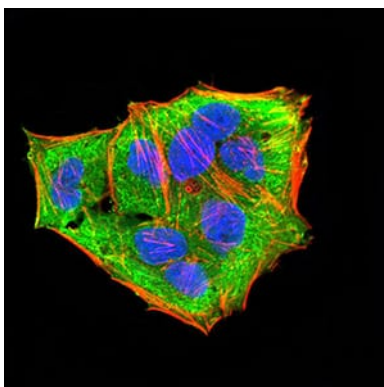
画像データ



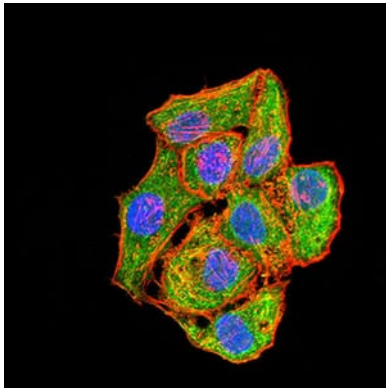
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



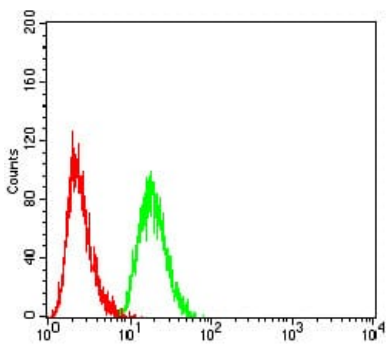
MAP2K3 マウス mAb (緑) を用いた GC-7901 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



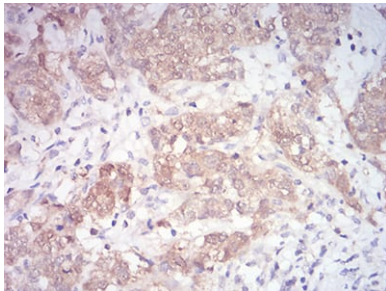
MAP2K3 マウス mAb (緑) を用いた Hela 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



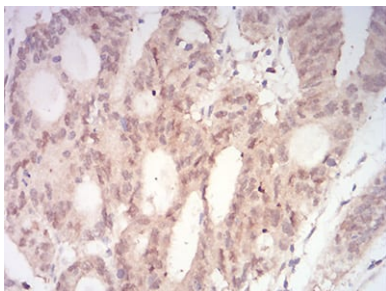
MAP2K3 マウス mAb (緑) を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



MAP2K3 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による MAP2K3 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による MAP2K3 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。